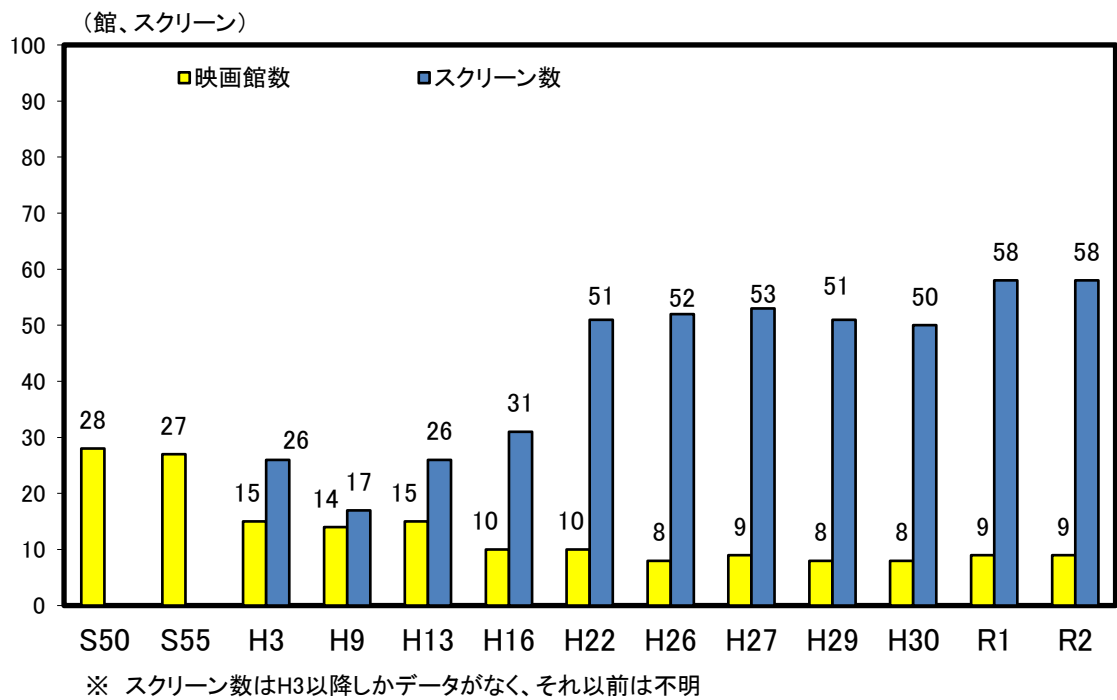


熊本の映画館数、スクリーン数の推移



解 説

【概要】
令和2年の熊本の映画館数（事業所数）9館、スクリーン数58、座席数10,523席でいずれも前年と同じだった。
十万人当たりスクリーン数は3.3、千人当たりの座席数は6.05でいずれも全国平均を上回っている。
映画館の数は調査の始まった昭和50年に28館だったのが令和2年には9館と約1/3になった。スクリーン数は調査し始めた平成3年に26だったのが平成9年に一旦減少したものの、その後は増加傾向で推移し、令和2年は58と平成3年の約2倍となり、シネマコンプレックスの増加が顕著であり、全スクリーン中、シネマコンプレックスの割合が約91%と9割以上を占め、全国平均の約88%を上回っている。

○映画館
アトラクションのあるなしにかかわらず商業的に映画の公開を行う事業所をいう。主として映画館の賃貸を行う事業所も含まれる。（映画館、映画劇場、野外映画劇場、映画館賃貸業、ミニ・シアター、ビデオ・シアターなど）
※シネマコンプレックス：同一運営組織が同一所在地に5スクリーン以上集積して名称の統一性（1,2,3・・・、A,B,C・・・、等）をもって運営している映画館

○映画館数、スクリーン数、座席数は当該年の12月31日現在の数値。（平成22年調査までは、11月1日現在。平成23年から平成30年までは、7月1日現在の数値）

注：平成30年までは経済産業省「特定サービス産業実態調査」によるもの。

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「映画年鑑」（一社）日本映画製作者連盟	令和2年12月31日	毎年